



発行：令和5年10月12日（月1回程度発行）

発行元：郷づくりまるやま 編集：地域づくり支援員 TEL：0470-46-2388

〒299-2592南房総市岩糸2489（丸山地域センター内） FAX：0470-46-3991

URL：http://civil.mbosonetoko.jp



詳細は次号でお知らせ

まるやま花 華倶楽部より



丸山の景観を花いっぱいにする当倶楽部の活動趣旨にご賛同いただける丸山地域の皆さんに、今年も花の苗を配布します。現在、花を種から育てているところです。花の種類や花色はお楽しみに♪

第5回フラワーフォトコンテストにご応募いただいた作品の中から選出された入賞作品を11月7日(火)から丸山公民館内に展示をします。丸山地区内の素敵な花風景をぜひご覧ください。

地震体験車（まもるくん）に乗車！

9月13日には一般の方を対象に、14日には嶺南小学校5年生を対象に、地域の防災意識向上を目的として地震体験車の乗車会を行いました。

東日本大震災と震度7の揺れをそれぞれ体験。「結構揺れて、頭や肘を打ったりした。椅子に隠れて、椅子を押さえるのが大変だった」「こんなに大きな揺れが、いきなり来ると思うと怖い」といった感想が聞かれました。

地震はいつどこで起きるかわかりません。

「倒れてくる・落ちてくる・動いてくる」ものがないか、身の回りを確認しましょう。



ほっとスポットひだまり 開催しました！

9月13日、子育て支援センターほのほので、ひだまりを実施しました。小グループで談笑され、楽しい時間があっという間に過ぎ、「こういう場所にきて、少しでもおしゃべりできるとホッとするといい声も聞かれました。中には、地震体験車を体験してから寄られた方もいらっしゃいました。

新たに2名の方が郷づくりまるやまに入会され、ひだまり部会で一緒に活動することとなりました。



ひだまりでは、気軽に集まり話しあえる場を地域に出向き提供する活動をしています。活動に興味のある方、事務局までお気軽にお問合せください。



関東大震災から100年 ②

1923年9月1日に発生した関東大震災。安房郡の被害は大きく、交通や通信手段も断たれました。また大地震により東京では大火災も起きたため、外部からの救援に頼れる状況ではありませんでした。

地震直後、比較的被害の少ない安房郡の山間部地域の青年団が、倒壊した建物の下敷きになった人々の救出などにあたりました。その後、安房郡全体の官民一体の復興を図るため、大橋高四郎郡長が主唱者となり、町村の首長と各復興会の代表を招集して「安房郡震災復興会（小原金治会長）」を組織し、地域を挙げての協力体制をとりました。

道路、河川、海岸などの土木や建築物の復興とともに、住宅・学校建設、農林水産商業など、あらゆる産業の復興が急がれました。復興が進むにつれ、観光事業を通じて震災復興が図られました。



◆被災者への食糧支援

当時、再び大地震が起きるかもしれない、交通もいつ復旧するかわからないという不安も広がる中、医薬品のみならず、食糧の不足も深刻だったといえます。『安房震災誌』では、大きな火災はなく、自給自足の土地である安房郡で、なぜ米不足が発生したのか、その理由が記されています。

- ①当時保存されていたのは粳米であり、すぐには調理できなかったこと
- ②震災により粳摺器具や収納施設も破壊されたこと
- ③ふだん農村部からの米の供給を受けている沿海部や市街地でも大きな被害があったこと

食糧確保が困難な中で、当時の千歳村村長である座間助治郎は、同村の安馬谷にあった古川銀行（後の千葉銀行）から玄米300俵を買収し、さらに村内の粳保有者から買い集めて、村内に配給し、人々に安心をもたらしたといえます。住民と協力しながら、被害調査のための戸別訪問、被災者への慰問、炎天下での復興活動に務めたことも記録されています。



食品の家庭備蓄のススメ

<詳細は右のQRコードから>

災害発生で、ライフラインが停止したり、物流機能の停止により、食品が手に入りにくくなります。被災時でも、普段と変わらない食事があれば、前向きな思考と元気に活動するエネルギーにもなります。普段の暮らしを少し工夫し無理なく災害時に備えましょう！



災害時に備えた食品の
家庭備蓄ガイドブック
(農林水産省)

家庭備蓄例：水・米・カップ麺・レトルト食品・缶詰・

ジャガイモなど日持ち野菜・梅干し・乾燥わかめ・調味料 など



◎ 災害は必ずやってくる ～災害が起きる前にできること～

- ・食糧・飲料などの備蓄は十分ですか？
- ・非常持ち出し品の確認、持ち出しバッグの準備はできていますか？
- ・家具の置き方、工夫していますか？
- ・ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？
- ・避難場所や避難経路、確認していますか？

◎南房総市WEB版防災ハザードマップ（右のQRコード）で、自分の住んでいる地域を確認してみましょう。各種災害で被害が予測される場所などの情報を見ることができます。

